

第5章

将来像の設定

- 5.1 基本理念
- 5.2 基本方針の設定

5.1 基本理念

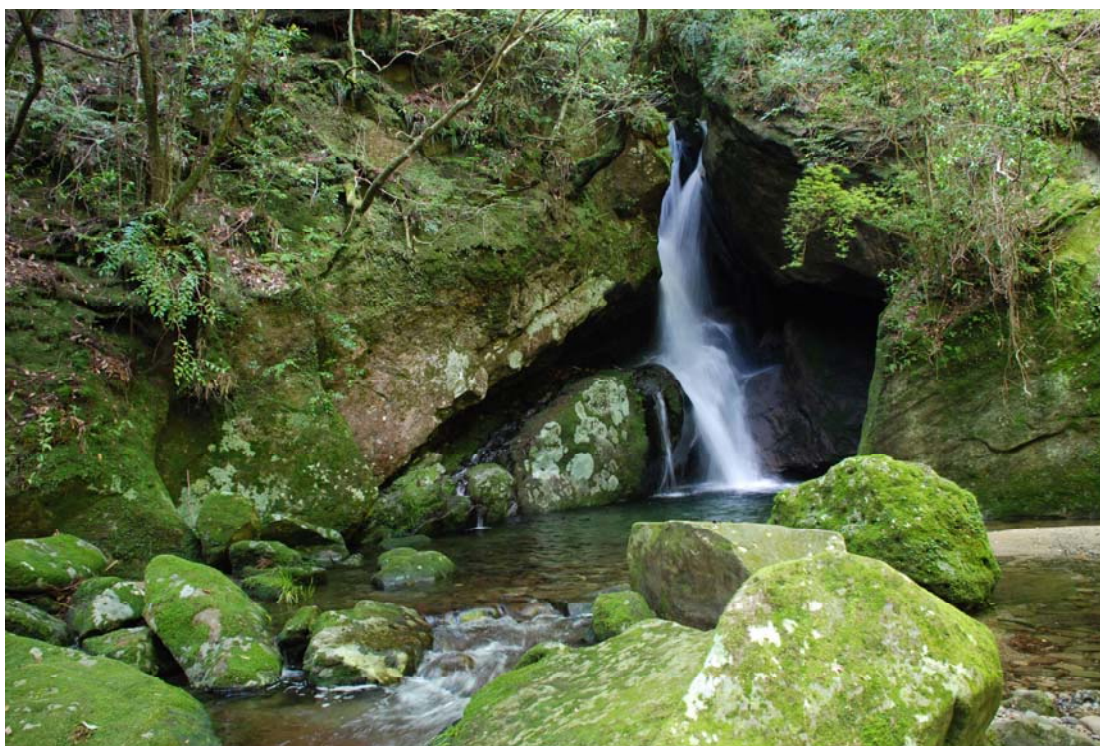
『地域とともに未来へつなぐ安全で安心な水道』

近年わが国の水道事業は、給水人口や給水量の減少、水道施設の老朽化による設備などの更新の増加、将来予想される大規模災害などに備えた対策の抜本的な見直しなど、非常に厳しい事業環境の変化に直面しています。

本市水道事業を取り巻く状況においても同様であり、時代や環境の変化に的確に対応しつつ、安全で安心な水の供給を未来に向けていつまでも継承していく必要があります。

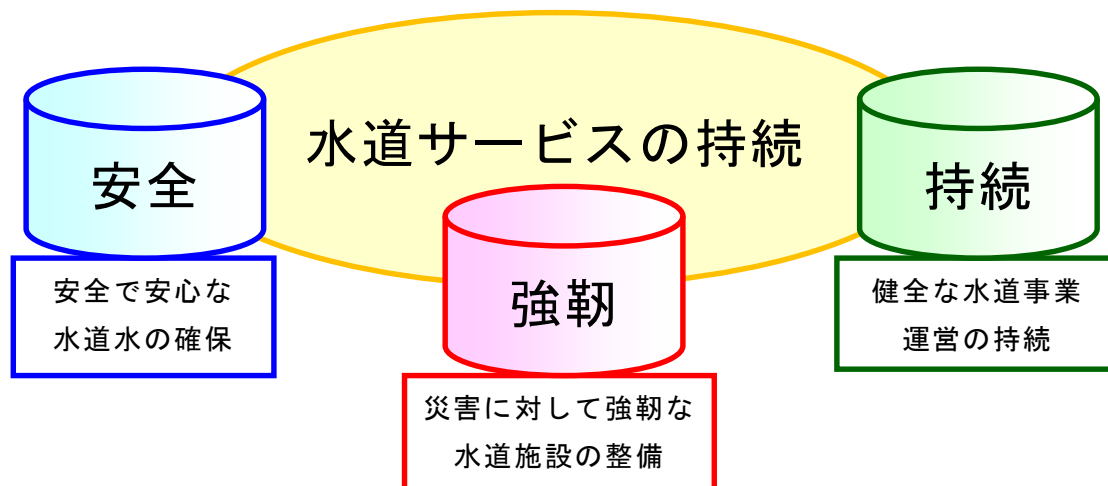
本市水道事業では、その目指すべき水道の将来像に向けて、上記の基本理念を掲げ、地域とともに未来につなぐ水道事業の運営に努めます。

【百間山溪谷かやの滝】



5.2 基本方針の設定

本市の水道事業において取り組むべき施策目標の基本方針を、厚生労働省が「新水道ビジョン」に示す【安全】【強靱】【持続】の3つの観点別に設定します。



基本方針 1 【安全】で安心な水道水の確保

施策目標 1-1 安全で安心な水道水の確保

水安全計画を策定し、今後も安全で安心な水道水を確保します。また、水源から末端給水までの水質管理及び監視を強化し、より良質な水道水を供給します。

施策目標 1-2 安定した水量の確保

老朽化した取水施設の更新について検討を進め、自己水源保全に取り組み、長期的に安定した水量を継続的に確保することに努めます。

施策目標 1-3 安全な給水の確保

管内カメラ調査や洗管作業を計画的に実施し、給水水質の向上を図ります。また、市内に残存している鉛製給水管の把握及び計画的な解消に努めます。

基本方針 2 災害に対して【強靱】な水道施設の整備

施策目標 2-1 効果的・効率的な水道施設の整備

老朽化した水道施設について、より効果的かつ効率的な更新計画を策定し、整備を進めます。

施策目標 2-2 災害に強い水道施設の整備

小泉浄水場をはじめとする基幹水道施設について、計画的に災害対策整備を進めます。

施策目標 2-3 災害・危機管理体制の強化・充実

地震などの自然災害や事故など発生時に対する各種危機管理マニュアルの運用方法の周知徹底及び内容の充実化を図ります。

【ステンレス製配水池(栗栖川第1配水池)】



基本方針 3 健全な水道事業運営の【持続】**施策目標 3-1 経営基盤の強化**

将来的に減少する水需要と増加する更新需要に備え、経営基盤の強化を行い、より健全な事業運営を行います。

施策目標 3-2 技術基盤の確保

水道技術の継承のため、人材育成を強化し、また各種システムの見直しを図ります。

施策目標 3-3 各種サービスの拡充

お客様のニーズを把握し、窓口業務の充実や料金収納方法の拡大など、各種サービスについて検討します。

施策目標 3-4 維持管理の効率化

水道施設の維持管理費用の削減、維持管理業務の効率化を図るため、中央監視システムの再構築について検討を行います。

施策目標 3-5 環境負荷の低減

新たな高効率設備の導入について検討を行い、積極的に省エネルギー化を図ります。